

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市上白根地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

担当エリアの旭北地区で、連合自治会から脱会した単位自治会において、個別支援の対応等の案件が多くあがるも地域支援の展開等に課題も多く、自治会等との更なる関係構築が求められております。また、地域福祉保健計画・地区別計画の推進組織である「旭北地区まちぐるみ福祉推進会議」において、新たな部会構成の中で前年度まで分かれていた分科会の統一等の課題への対応が求められております。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 基本的に開館時にいつでも相談できる体制を整え、全員で協力のうえ対応しております。
- 地区内の各種会合（地区連合、地区社協、民児協、保健活動推進員会、消費生活推進員会、かがやきクラブ等）に毎会同席し、情報の提供・意見交換だけでなく個別相談等にも応じていることから、日常的にも個別に相談できる関係構築に努めております。
- 隔月開催の「地域ケア支援会議」では、個別支援課題をもとに区役所、区社協、民児協と情報交換し、地域支援活動や地域ケア会議の課題設定等につなげております。
- 出張による介護予防事業等と併せ相談窓口を開設し、ケアプラザから離れた方でも相談できるよう対応しております。
- 「こどもの居場所兼学習支援事業」を毎週実施している等の効果として、地域住民からもケアプラザが子ども家庭や障がい児者への支援窓口になると認識が得られつつあり、個別の障がい児支援の相談が複数来ており、区社協と協力のうえ自治会等にも地域支援要請等のつなぎ役として担うことができました。

(3) 各事業の連携

- 地域ケア会議では、連合から脱退した自治会や民生委員不在のエリアにおいて孤立しがちな単身高齢者世帯や高齢夫妻世帯を取りあげ、同様の案件での対応を共有するため、5職種の機能を活かした検討をすすめました。
- 5職種定例会や居宅介護支援会議等で「ダブルケア」のニーズ把握をすすめ、次年度以降の事業展開につなげる可能性を探りました。
- 地域ケア会議の準備段階で把握した住民の交流の場（飲食店）とつながり、広報紙の定期設置や同席により相談対応につなげる等の取組につなげることができました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 職員は欠員なく配置できております。
- 法人の人材育成計画に基づく階層別・課題別・職種別研修や各職種の法人内連絡会等を通じた育成機会への参加に加え、内部全体研修では人権、個人情報保護、文書、経理の研修を実施しました。また、職員会議等ではLGBT等の理解啓発研修参加者からの報告等で職員への理解促進に努めました。
- 7月には「かながわ高齢者福祉研究大会」でエリア内でのサロン立ち上げ支援の取組事例を発表し、運営協議会等でも報告しました。生活支援体制整備事業等地域支援にかかる取組のまとめにもつながりました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地区内の各種会合（地区連合、地区社協、民児協、保健活動推進員会、消費生活推進員会、かがやきクラブ等）に毎回事務席し、情報の提供・意見交換だけでなく個別相談等にも応じていることから、日常的にも個別に相談できる関係構築に努めております。
- 地域福祉保健計画・地区別計画の推進を支援チームの一員としてすすめ、見守り体制構築に向けた第1部会の一体化を図ることができました。1月開催の包括レベル地域ケア会議でも一体化後にケアプラザから提案した具体策をもとに議論を進める予定です。
- 地域ケア会議には旭区医師会在宅医療連携室や薬剤師会の定例参加を得ることができ、医療との連携につなげることができました。
- 区薬剤師会から運営協議会委員を選出し、定例参加を得ることができました。
- 地域活動ホームや障がい福祉事業所との協働で障がい者余暇活動支援事業を実行委員会の一員として実施しました。

(6) 区行政との協働

- 地域福祉保健計画・地区別計画の推進には、地域住民との窓口を積極的に担い、全部会に職員を分担し、地区の取組支援をすすめました。
- 地区別計画・第3部会の取組と区地域力推進担当「あさひ・新みらい塾」の取組につなげるための対応に全面協力しました。
- 地域包括支援センターと高齢・障害支援課との連携においては、地域ケア会議や巡回相談等を通じた連携のほか、今年度開始された認知症初期集中支援チーム会議でも積極的に事例提供する等対応しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 28年度から開始している「こどもの居場所兼学習支援事業」「花だんづくり事業」等をきっかけに、子どもや障がい児・者等幅広く対応するケアプラザとしての認識を広めるきっかけづくりに努めました。3月にはドキュメンタリー映画「みんなの学校」自主上映会を実施し、地域での子どもや障がい児・者の見守り等支援の輪拡大に向けた啓発事業を実施予定です。
- 総合相談でも挙げたように、各事業をきっかけに障がい児の登校支援相談等も数件挙がっており、身近な地域のボランティアにつなげる対応を区社協と協働でおすすめしております。
- 地域包括支援センターとの連携で「医療講座」を5回シリーズで実施し、地域住民の関心が高い課題であることも改めて認識できました。
- 地元障がい福祉事業所との協働で、地域住民との交流事業「メンズ芋煮会」を実施し、地域住民への障がい福祉理解の啓発にもつながっております。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 設備の経年劣化対策としては、優先すべき修繕箇所が生じているため、定期的なメンテナンス等を通じて利用者に不便が生じないように努めております。
- 4月から入口の貸館利用状況掲示を間取り図と一体化した見やすいものに替え、急な貸館対応にも可能な限り応じることができました。
- 打合せ等にも活用いただけるよう、地域ケアルームにも窓に貼るホワイトボードを設置しました。
- 貸館説明会を2月に開催し、各利用団体相互の情報交換・交流も図る取組を実施しました。
- 夜間利用に関しては、カラオケ倶楽部事業で長期間入院していた方も復帰後参加していただけた等、毎週継続することで利用の安心感を得られているとの感想を得ております。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 「こどもの居場所兼学習支援事業」では、地域住民のボランティアに加え、横浜商科大学附属高等学校生徒の協力を得て事業を実施しており、生徒の地域貢献にもつながりました。
- 9月に地域包括支援センター、通所介護事業部門と共催でボランティア養成事業を実施し、地域活動人材の育成機会をつくりました。
- 地域防災拠点運営委員会の一員にもなり、拠点防災訓練では、白根小学校児童や旭北中学校生徒に車いす操作指導等福祉教育の取組をすすめました。
- 介護予防事業にかかるボランティア育成講座を実施し、今後各地域での展開に活かせる人材の創出機会をつくりました。
- 区社協移動情報センターに協力し、障がい児の登校支援にかかるボランティアの呼びかけについて、地域住民へのつなぎ役に努めました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 区役所、区社協とは地区別計画の支援チーム会議での情報交換のほか、区社協とは毎月地域支援にかかる情報共有と年間の地域支援計画を相互に立て、年2回進捗状況を共有しております。
- 上白根コミュニティハウスとの連携においては、11月の認知症サポーター養成講座や、3月のドキュメンタリー映画「みんなの学校」自主上映会も協力を得て共催しました。
- 広報紙の発行は計画どおり年11回発行し、法人ホームページに毎号掲載し広く情報提供をすすめております。
- 2月の貸館説明会は交流会を兼ねて実施し、各団体の情報共有を図りました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 日常的に総合相談記録を共有し、月1回の5職種会議や区巡回相談の参加等で個別・地域双方の課題検討につなげております。
- 区・区社協職員との連携では、地域包括支援センター職員、地域活動・交流コーディネーターとともに、生活支援コーディネーターは地区別計画・支援チームの一員として参加のほか、区社協(1層コーディネーター、地区担当)とは定期的な地域支援の方針策定、進捗状況の共有を地域活動・交流コーディネーターとともにすすめております。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 運営協議会や地域ケア会議では、対象自治会周辺のデータや傾向、社会資源情報を提供し、地域課題検討のきっかけづくりに寄与しております。
- 介護予防事業の出張先拡大や地域ケア会議の準備での対象自治会周辺情報把握のため、地域包括支援センターとともにヒアリングに出向き、新たな社会資源の把握や住民のつながり創出に向け働きかけております。特に29年度は地区連合から脱会した単位自治会とのつながり構築に努めました。
- エリア内の社会福祉施設や介護保険事業所との連携においては、社会福祉法人改革に伴う地域貢献や、家主から空き家活用の提案があったところとのつながりを模索する等すすめております。
- 買い物支援に関しては、商店、スーパーへのヒアリングをもとに情報をまとめ、地域包括支援センターや居宅介護支援への提供等に活かしております。
- 得られた情報をリスト化等で100件まとめたほか、地域ケア会議等でも活用する等すすめることができました。

(3) 連携・協議の場

- 昨年度協議体を実施した旭台自治会には、自治会館を借りた自主的な体操教室への働きかけや、かがやきクラブ、グラウンドゴルフ活動に地域課題の提起等を継続しています。
- 1月開催の協議体では地区連合内での活発な活動をもとに、活動の要素やきっかけ等を分析し他の取組に活かす試みを検討しました。
- 区域で行うサロン交流会に向けた準備として、既存の活動団体への参加呼びかけ等をすすめております。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 特別養護老人ホームで実施している「わくわく商店街」（区商店会連合会主催）の動向を区社協や近隣地域ケアプラザと調査し、地区社協も交えた顔合わせを予定し、今後の連携に活かしていきます。
- 区役所地域力推進担当の「新あさひみらい塾」について、旭北地区での白根通りの美化活動が大テーマとして取組むこととなったため、地区別計画・支援チームの一員として中堀川美化活動につなげていく調整役となり、幅広い課題解決の場づくりに協力しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 地域ケア会議には、民児協や区社協、介護保険事業者のほか、旭区医師会在宅医療連携室や薬剤師会の定例参加を得ることができ、医療との連携につなげることができました。
- 各地域団体への定例会参加を通じた情報交換は勿論、今年度は地区別計画の推進において、「旭北地区まちぐるみ福祉推進会議」第1部会の取組一体化の支援と、見守り体制づくりに向け1月の包括レベル地域ケア会議開催、さらに2月の地区民児協・友愛活動員の合同研修会等に参加し、ネットワーク構築につなげました。
- ケアマネジャー向け研修会として、近隣地域ケアプラザとの共催「かみしらね福祉アカデミー」を年4回開催いたしました。

② 実態把握

- 5職種で連携し、総合相談をもとに対象エリアの単身高齢者世帯や高齢夫婦世帯からの支援内容等実態を集計するなど、地域ケア会議の企画実施の素材として活かしました。
- 利用者アンケートで出された意見を職員間で共有し、サービス改善に向けた改善宣言を2月に掲示しました。
- 医療機関、区薬剤師会と連携し、地域住民向けに関心度の高いテーマ設定で医療講座を地域活動・交流と協力のうえ企画実施し、住民の医療課題にかかる関心の高さがうかがえました。

③ 総合相談支援

- 総合相談の傾向を分析し、地域ケア支援会議での課題提起や地域ケア会議の事例選定(単身高齢者が住む集合住宅等)に活かしました。
- 地区民児協定例会への参加をもとに、民生委員が関わる個別相談の対応支援や介護保険利用、関係機関につなげるよう努めました。
- 民生委員不在である市営住宅自治会の定例打合せに地域活動・交流コーディネーターと主任ケアマネジャーが毎月出席し、個別支援課題の共有と関係機関へのつなぎ等に努めました。
- 体操教室等を出張開催した際の相談窓口を開設し、地域ケアプラザから離れたエリアでも相談しやすい環境づくりをすすめました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見制度の普及啓発講座を司法書士に協力を得て開催し、個別相談にもつなげました。
- 個別の支援困難ケースにおいては、横浜生活あんしんセンター関係の弁護士に同行訪問の協力を得る等積極的に専門職との連携を図り、法定後見申立につなげました。
- 旭区版エンディングノート活用講座は、申込多数で住民ニーズの高さを把握でき、継続した普及活動につなげていく見通しが得られました。
- 地区消費生活推進員会定例会に毎回参加し、消費者被害防止の普及活動にかかる情報共有を図り、住民への周知を図りました。

② 高齢者虐待への対応

- 民生委員からの相談通報をもとに、虐待のおそれがある認知症高齢夫婦世帯に関わり、危機の回避と緊急短期入所等の支援を各職種で連携し対応しました。
- 徘徊 SOS ネットワークの対応等では、通所介護や居宅介護支援等地域ケアプラザ全職員に周知できるよう早期発見や見守り体制づくりに努めました。
- 認知症サポーター養成講座の開催や薬局と連携して実施している認知症カフェの取組、区包括連分科会活動の一環で、高齢者虐待防止にかかる啓発活動に努めました。

③ 認知症

- 旭区ひまわりの会や上白根町内会との協働で認知症サポーター養成講座を開催しました。さらに講座では、地区別計画の取組であるあさひ安全・安心かわら版メールの普及も協力しました。
- 「介護者の輪」参加者拡大をねらいに9月に認知症サポーター養成講座を開催しました。
- 薬局との連携で認知症カフェ運営に協力し、地元町内会関係者にも参加を得る等つなげました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 各地域団体の定例会や昼食会等に5職種の各職員が交代で出席し、地域ケアプラザの役割や介護保険制度等について説明し、住民向け啓発を行いました。
- 地区民児協定例会に毎回出席し、地域情報の収集と、民生委員活動で困った時に適切な相談へつなげる調整ができました。また民生委員からの個別相談を通じて、必要に応じてケアマネジャー等関係機関との調整を行いました。
- グループホームや小規模多機能型居宅介護の運営推進会議に参加し、支援困難事例の対応や地域ニーズの把握等、多職種による意見交換ができました。

② 医療・介護の連携推進支援

- エリア内外の医療機関を個別に訪問し、顔の見える関係づくりに努めました。
- 地域の医療機関である横浜旭中央総合病院と区薬剤師会とそれぞれ共催で、地域住民向けに医療知識向上や疾病予防等をねらいに、医療講座を5回シリーズで開催しました。
- 近隣地域包括支援センターとの共催のケアマネジャー勉強会で、6月の「生活習慣病」についての講話と意見交換会を開催しました。

③ ケアマネジャー支援

- 面接、電話、メール等でケアマネジャーからの相談に日常的に対応しました。相談内容に応じて各職種や区役所地区担当、生活支援課や障害者支援担当と連携してケース共有やサービス担当者会議開催に協力しました。
- 旭ケアネットの運営に協力し、前期は運営委員としても協力しました。
- 新任・就労予定ケアマネジャー研修は、区役所・区内地域包括支援センターと合同で2回開催しました。区社協事業や一般行政サービスの紹介、近隣施設見学などを企画し、プラン作成に活用できる情報や、ケアマネジャー同士の連携につなげる場となりました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 個別ケース地域ケア会議では、8月は孤立しがちな集合住宅の単身高齢者への支援、11月は認知症高齢者夫婦世帯への身近なつながりを活かした支援体制の構築等について、それぞれ5職種が連携しヒアリングや総合相談をもとにした分析等をもとに検討をすすめました。
- 地区別計画第1部会の見守り支援体制構築においては、具体的方策として見守り体制の可視化についての方法論を地域ケアプラザから提案しました。関係者の反応も良好なため、1月の包括レベル地域ケア会議でモデル的に先進的な自治会の取組をもとに検討する素材として活用したものを2月の推進会議で報告しました。
- 2月の地区民生委員と友愛活動員との合同研修会に主任ケアマネジャーと生活支援コーディネーターが出席し、今後の見守り支援体制構築に向けた支援活動につなげました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- インフォーマルサービスの把握は、生活支援コーディネーターや地域活動・交流コーディネーターにも協力を得ながらすすめました。
- 近隣地域ケアプラザと共催したケアマネジャー支援勉強会と関連しながら、委託事業所の拡大等も図ることができました。
- 毎月定例の予防ミーティングでは、生活支援コーディネーターも交えて対象ケースの課題共有等をすすめました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 今年度は、介護予防に関わるボランティア育成に力を入れ、脳トレや体操の講座を企画しました。今後は身近な自治会館での自主開催や地域ケアプラザでの実施等で活躍できる人材としてつなげていく予定です。
- 特に、男性向け体力測定会の企画では多方面に周知したことで体操ボランティア育成につながりきっかけづくりになりました。
- 前年度自主化したグループは、側面的に支援しました。
- 地区連合を脱会した自治会へ、次年度体操教室を企画したいと働きかけをすすめたことで、自治会館を利用した教室の開催につながる見通しができました。

5 その他

地区社協がめざす中間支援組織機能を発揮するために、区社協と連携して支援に向け地区社協役員あてヒアリング等協議を開始しております。これにより地域住民が主体とした身近な活動に対する支援の幅が広がることも期待できると考え、地域ケアプラザとしても協力していきます。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- 利用者本位の施設運営を目指し、次の事項を進めました。
- 横浜市社会福祉協議会の運営する地域ケアプラザとして、活動理念の「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作くり出す」を基に運営しました。
 - 世代を問わず、また障害の有無にかかわらず、地域の皆さんが主体的に参加できるよう事業を実施し、地域福祉の推進に努めました。
 - 高齢者のみならず、障害児者、子育て関係等様々な利用が想定されるため、施設内の通路をはじめ、各部屋、トイレ、洗面所等、誰もが使いやすいよう整理整頓を心がけました。
 - 協定書に基づき、施設管理、清掃業務を適正実施しました。
 - 建物整備、保守管理について、当初計画に基づき行いました。
 - 全職員からよせられた業務改善提案(全 55 件)の取り組みにより、利用者の安全確保や事務の省力化等を進めました。
 - 備品台帳の再確認を行い、不要な備品の廃棄を進めました。

(2) 効率的な運営への取組について

- 公的な施設であり、指定管理者として地域ケアプラザの役割を認識し、限られた予算内で適正な運営を行う為、経費の削減、資源の有効活用を心がけ、光熱水費の削減に努めました。
- 予算管理に基づく効率的な経営を実施しました。
 - 照明の LED 化による省エネ対策を推進するとともに、リサイクル等を職員全員の意識向上を図りながら実践しました。

(3) 苦情受付体制について

- 地域住民や利用者からよせられた苦情やご意見をマイナスとしてではなく、業務改善に必要な事由と捉え、施設・法人全体で苦情受付(対応)の体制構築を進めました。
- 苦情受付担当者及び実務責任者を置き、館内にわかりやすく掲示しました。
 - 職員一人ひとりが「苦情解決」に積極的に取り組むことができるよう、法人のマニュアルをもとに適切に対処しました。
 - 法人にて苦情解決調整委員会を開催し、苦情の報告及び評価を実施しました。
 - 法人内で受付けた苦情の情報を共有し、本施設でも起こりうる問題として職員全体で苦情発生を未然に防ぐよう取り組みました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 緊急時体制を確立し、公の施設として災害時の対応や防災・防犯を進めました。
- 防災・消火・避難訓練を実施しました。(年 2 回)
 - 特別避難場所としての対応、訓練を行いました。
 - 地域ケアプラザ及び法人本部により重層的に対応する仕組みづくりを進めました。
 - 地域の防災訓練や、連合自治会による防災フェスタ等の地域行事にも積極的に参加し、日頃からの顔の見える関係づくりを進めました。
 - 緊急時対応マニュアルを職員全体で共有し、有事に備えました。
 - AED を常時使用できるように点検を行いました。

(5) 事故防止への取組について

法人が運営する施設の事故報告を集計分析し、法人内の所長会・グループウエアで共有しました。その結果を受け、事故の分析／防止に向けた検討・対応を行いました。

- 事故や感染症の発生、職員の労災等について、地域ケアプラザ全体で「リスクマネジメント」を行う仕組みをつくり、実施しました。
- 事故対応マニュアルを始めとする、各種マニュアルの整備・更新を行いました。
- リスクマネジメント研修を実施し、意識向上・対応技術を向上させました。
- 事故に至らないケースは、ヒヤリハット事例として職員全体で共有しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の保護については、法人の「保有する個人情報の保護に関する規程」及び「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」に定められている具体的な取組を徹底しました。

- 個人情報が含まれる書類等は、鍵付き専用棚での管理を徹底しました。
- 守秘義務については、「なぜ守らなければならないか」について明文化したものを全職員に説明しました。
- 職員全体会議の場で個人情報保護にかかる研修を全員に行いました。

(7) 情報公開への取組について

法人の情報公開制度を基にして、適切に対応を行いました。情報公開用資料を常設し、ケアプラザリーフレットの更新や、広報紙のカラー化などをすすめ、常に最新の情報が更新され、わかりやすく情報が伝わるよう取り組みました。

(8) 人権啓発への取組について

法人内外の人権啓発研修に職員が複数参加し、人権意識の向上に努めました。

また、職員全体会議において人権研修を実施し、利用者の人権尊重やチームワーク意識の醸成を図りました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

「ヨコハマ3R夢プラン」に基づき、ゴミの分別、少量化、再資源化に努めました。

また、常時点灯している事務所及び一部の共用スペースの照明をLED化し、継続的な省エネ化を進めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名（常勤）
主任ケアマネジャー	1名（常勤）
社会福祉士	2名（常勤）
介護支援専門員	1名（非常勤）

《目標に対する成果等》

- インフォーマルサービスの把握は、生活支援コーディネーターや地域活動・交流コーディネーターにも協力を得ながらすすめました。
- 近隣地域ケアプラザと共催したケアマネジャー支援勉強会と関連しながら、委託事業所の拡大等も図ることができました。
- 毎月定例の予防ミーティングでは、生活支援コーディネーターも交えて対象ケースの課題共有等をすすめました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 横浜市社会福祉協議会運営ケアプラザとして、地域・ご利用者最優先の取組をすすめました。
- 担当者不在であっても対応が滞らないよう、体制づくり・情報共有を行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
134	136	136	144	139	138
10月	11月	12月	1月	2月	3月
143	143	142	144	142	143

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 4名（常勤1名、非常勤3名）

《目標に対する成果等》

「地域に求められる／地域に根ざした支援ができる居宅を目指す」ことをスローガンに、利用者が住み慣れた地域の中で安心して自立した生活が送れるよう支援しました。

ご本人の支援と併せ、地域包括支援センター・通所介護部門等との連携を深め、ご家族の支援を含めた「包括的支援」体制づくりを進めるとともに、個別ケース地域ケア会議への参加や、旭区生活支援体制整備事業にかかる関係会議に居宅介護支援事業者の代表として参加する等、地域支援にかかる取組にも積極的に協力しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

2層生活支援コーディネーターとの定期的な連絡会議を設け、ケアマネジャーが知り得ている情報と生活支援コーディネーターが分かる情報を交換し、相互の業務に活かす取組を開始しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
115	115	117	112	116	118
10月	11月	12月	1月	2月	3月
120	123	118	112	106	114

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

生活の一部として安心して安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供しました。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分
（要介護1）	614円	1,227円
（要介護2）	725円	1,450円
（要介護3）	837円	1,673円
（要介護4）	948円	1,896円
（要介護5）	1,060円	2,119円
● 加算額	1割負担分	2割負担分
入浴加算	54円	108円
口腔機能向上	161円	322円
個別機能訓練加算Ⅱ	60円	120円
体制強化加算Ⅰイ	20円	39円
体制強化加算Ⅰロ	13円	26円
体制強化加算Ⅱ	7円	13円
中重度ケア体制加算	49円	97円
認知症加算	65円	129円
介護職員処遇改善Ⅰ	所定単位数に1,000分の59を乗じた単位数を加算	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:15~15:20

《職員体制》

管理者	1名（常勤・兼務）	生活相談員	3名（常勤）
看護師	4名（非常勤・兼務）	介護職員	9名（非常勤）
機能訓練指導員	3名（非常勤・兼務）	運転員	4名（非常勤）

《目標に対する成果等》

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図りました。（車両事故防止対策・接遇マナー・介護技術・レクリエーション等）

地域住民向けボランティア養成講座を地域活動交流、地域包括支援センターと協働で行い、サービスに協力いただくボランティアが増加しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域向けに発行する地域ケアプラザ広報紙の特集として、通所介護で関わるボランティアや利用者の作品をPRする等の情報提供を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
570	587	588	573	568	543
10月	11月	12月	1月	2月	3月
549	534	506	486	516	548

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

生活の一部として安心して安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供しました。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分
①事業対象者、要支援1	1, 766円	3, 531円
②要支援2<週1程度>	1, 766円	3, 531円
③事業対象者、要支援2<週2程度>	3, 621円	7, 241円
● 加算額	1割負担分	2割負担分
生活機能向上Gp活動	108円	215円
運動器機能向上	242円	483円
口腔機能向上	161円	322円
サービス複数実施I	515円	1, 029円
体制強化加算Iイ		
①事業対象者、要支援1	78円	155円
②要支援2<週1回程度>	78円	155円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	155円	309円
体制強化加算Iロ		
①事業対象者、要支援1	52円	103円
②要支援2<週1回程度>	52円	103円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	103円	206円
体制強化加算II		
①事業対象者、要支援1	26円	52円
②要支援2<週1回程度>	26円	52円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	52円	103円
介護職員処遇改善I 所定単位数に1,000分の59を乗じた単位数を加算		
● 食費負担 750円（一律）		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:15~15:20

《職員体制》

管理者	1名（常勤・兼務）	生活相談員	3名（常勤）
看護師	4名（非常勤・兼務）	介護職員	9名（非常勤）
機能訓練指導員	3名（非常勤・兼務）	運転員	4名（非常勤）

《目標に対する成果等》

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図りました。（車両事故防止対策・接遇マナー・介護技術・レクリエーション等）

地域住民向けボランティア養成講座を地域活動交流、地域包括支援センターと協働で行い、サービスに協力いただくボランティアが増加しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域向けに発行する地域ケアプラザ広報紙の特集として、通所介護で関わるボランティアや利用者の作品をPRする等の情報提供を行いました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	16	17	17	17	19
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	18	17	18	16	16

平成29年度 横浜市上白根地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,431,160	215,928	16,647,088	16,647,088	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	138,050	△ 138,050	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	93,575	△ 93,575	
印刷代	0		0	93,575	△ 93,575	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,380,000		2,380,000	2,380,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,359,000		1,359,000	1,359,000	0	
収入合計	20,170,160	215,928	20,386,088	20,617,713	△ 231,625	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,702,000	0	11,702,000	9,384,826	2,317,174	
本俸	8,532,000		8,532,000	6,787,812	1,744,188	
社会保険料	735,000		735,000	690,855	44,145	
手当計	2,244,000		2,244,000	1,798,290	445,710	
健康診断費	21,000		21,000	15,657	5,343	
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	6,750	3,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	77,462	72,538	
その他	10,000		10,000	8,000	2,000	
事務費	1,930,000	0	1,930,000	2,040,305	△ 110,305	
旅費	40,000		40,000	24,459	15,541	
消耗品費	623,000		623,000	500,857	122,143	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	150,000		150,000	147,969	2,031	
通信費	100,000		100,000	134,576	△ 34,576	
使用料及び賃借料	0	0	0	56,138	△ 56,138	
横浜市への支払分	0		0	4,200	△ 4,200	
その他	0		0	51,938	△ 51,938	
備品購入費	80,000		80,000	59,788	20,212	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	70,000		70,000	5,262	64,738	
職員等研修費	10,000		10,000	13,042	△ 3,042	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	20,000		20,000	263,122	△ 243,122	
手数料	47,000		47,000	46,092	908	
地域協力費	22,000		22,000	22,000	0	
その他	767,000		767,000	767,000	0	
事業費	278,000	0	278,000	770,114	△ 492,114	
運営協議会経費	42,000		42,000	7,340	34,660	予算:指定額
指定管理料充当 事業	236,000		236,000	762,774	△ 526,774	
管理費	5,324,000	424,811	5,748,811	5,754,615	△ 5,804	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	3,096,000	0	3,096,000	3,079,580	16,420	
電気料金	898,000		898,000	893,078	4,922	
ガス料金	929,000		929,000	923,874	5,126	
水道料金	1,269,000		1,269,000	1,262,628	6,372	
清掃費	938,000		938,000	937,741	259	
修繕費	474,000	424,811	898,811	925,591	△ 26,780	予算:指定額
機械警備費	132,000		132,000	131,155	845	
設備保全費	684,000	0	684,000	680,548	3,452	
空調衛生設備保守	269,000		269,000	268,555	445	
消防設備保守	22,000		22,000	21,443	557	
電気設備保守	253,000		253,000	252,109	891	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	140,000		140,000	138,441	1,559	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	936,160	0	936,160	750,786	185,374	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	936,160		936,160	750,786	185,374	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ズ対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	20,170,160	424,811	20,594,971	18,700,646	1,894,325	
差引	0	△ 208,883	△ 208,883	1,917,067	△ 2,125,950	

自主事業費収入	236,000		236,000	138,050	97,950	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	236,000		236,000	762,774	△ 526,774	
自主事業収支	0	0	0	△ 624,724	624,724	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	△ 4,200	4,200	

平成29年度 横浜市上白根地域ケアプラザ
 収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,920,000	△ 181,529	28,738,471	28,738,471	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	2,333,566	8,122,566	8,122,566	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	82,000	△ 82,000	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	45,000	△ 45,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	45,000	△ 45,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,397,000		2,397,000	2,397,000	0	
収入合計	37,257,000	2,152,037	39,409,037	39,536,037	△ 127,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	34,334,045	△ 1,645,045	
本俸	16,192,000		16,192,000	17,248,350	△ 1,056,350	
社会保険料	4,314,000		4,314,000	4,300,835	13,165	
手当計	10,895,000		10,895,000	11,505,026	△ 610,026	
健康診断費	43,000		43,000	42,261	739	
勤労者福祉共済掛金	33,000		33,000	32,250	750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,210,000		1,210,000	1,203,323	6,677	
その他	2,000		2,000	2,000	0	
事務費	1,844,000	0	1,844,000	1,704,475	139,525	
旅費	80,000		80,000	86,890	△ 6,890	
消耗品費	100,000		100,000	50,423	49,577	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	30,000		30,000	12,420	17,580	
通信費	190,000		190,000	232,215	△ 42,215	
使用料及び賃借料	70,000	0	70,000	68,442	1,558	
横浜市への支払分	5,000		5,000	4,200	800	
その他	65,000		65,000	64,242	758	
備品購入費	200,000		200,000	20,000	180,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	90,000		90,000	1,400	88,600	
職員等研修費	50,000		50,000	103,427	△ 53,427	
振込手数料	1,000		1,000	432	568	
リース料	300,000		300,000	131,862	168,138	
手数料	1,000		1,000	972	28	
地域協力費	40,000		40,000	40,000	0	
その他	692,000		692,000	955,992	△ 263,992	
事業費	1,308,000	0	1,308,000	1,094,418	213,582	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	218,000		218,000	201,524	16,476	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	153,351	△ 2,351	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	235,543	73,457	予算:指定額
管理費	1,416,000	0	1,397,000	1,354,129	42,871	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	800,000	0	800,000	818,622	△ 18,622	
電気料金	232,000		232,000	237,400	△ 5,400	
ガス料金	240,000		240,000	245,586	△ 5,586	
水道料金	328,000		328,000	335,636	△ 7,636	
清掃費	250,000		250,000	249,272	728	
修繕費	126,000		126,000	70,471	55,529	予算:指定額
機械警備費	35,000		35,000	34,863	137	
設備保全費	186,000	0	186,000	180,901	5,099	
空調衛生設備保守	72,000		72,000	71,387	613	
消防設備保守	6,000		6,000	5,700	300	
電気設備保守	68,000		68,000	67,014	986	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	40,000		40,000	36,800	3,200	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	37,257,000	0	37,238,000	38,487,067	△ 1,249,067	
差引	0	2,152,037	2,171,037	1,048,970	1,122,067	

自主事業費収入	678,000			82,000		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	678,000			590,418		
自主事業収支	0			△ 508,418		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			4,200		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 4,200		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市上白根地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	2,441	15,908
その他	5,807		1,027	240	0
介護予防ケアマネジメント費	5,798		0	0	0
事業・負担金収入	0		0	24	0
	0		1,027	0	0
	0		0	0	0
	0		0	0	0
その他	9		0	216	0
収入合計(A)	8,248		16,935	71,333	0
支出	人件費		2,476	14,925	48,701
	事務費	15	60	362	0
	事業費	4,245	937	21,764	0
	管理費	0	0	0	0
	その他	0	272	3,458	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0
		0	272	3,458	0
	その他	0	0	0	0
支出合計(B)	6,736	16,194	74,285	0	
収支 (A) - (B)		1,512	741	-2,952	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
お茶のみサロン	高齢者	78,137	地活	14,337	63,800	0	10,000	68,137	0
	399人		包括						
	200円		生活						
おもちゃの貸し出し	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	80人		包括						
	無料		生活						
図書コーナー	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	58人		包括						
	無料		生活						
福祉用具の貸し出し	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	101人		包括						
	無料		生活						
上白根ギャラリー	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	77人		包括						
	無料		生活						
上白根ふれあい農園	地域	32,934	地活	32,934	0	0	0	27,894	5,040
	48人		包括						
	無料		生活						
ぷらざ・かふえ・ゆるり	地域	28,121	地活	13,621	14,500	0	0	21,401	6,720
	145人		包括						
	200円		生活						
上白根カラオケ倶楽部	地域	8,000	地活	8,000	0	0	0	0	8,000
	398人		包括						
	無料		生活						
ママのための ヒーリングヨガ講座	親子	55,600	地活	34,900	20,700	0	50,000	0	5,600
	127人		包括						
	300円		生活						
リトミック	親子	77,088	地活	45,588	31,500	0	66,000	0	11,088
	214人		包括						
	300円		生活						
子どもの居場所 兼学習支援	子ども	308,304	地活	308,304	0	0	254,100	27,324	26,880
	347人		包括						
	無料		生活						
白根学園「麦の丘」 パン販売	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	713人		包括						
	無料		生活						
花だんづくり	子ども	29,810	地活	29,810	0	0	0	27,570	2,240
	6人		包括						
	無料		生活						
合同歌声喫茶2017	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	463人		包括						
	500円		生活						
親子deイベント 「梅雨を吹きとばせ！親 子でお祭りさわぎ」	親子	4,062	地活	2,762	1,300	0	0	2,690	1,372
	26人		包括						
	一般参加者100円		生活						
A2ライン共催事業 「七夕祭り」	親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	65人		包括						
	無料		生活						
かみしらねキッズ倶楽部 ①エコーマイクづくり ②キャンドルづくり ③アイスクリームづくり	子ども	14,530	地活	10,380	4,150	0	10,000	2,850	1,680
	48人		包括						
	①150円②100円③200円		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
横浜旭陵高校 地域貢献デー	高校生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	27人		包括						
	無料		生活						
よこはまシニアボランティア アポイント登録会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	18人		包括						
	無料		生活						
上白根地域ケアプラザ ボランティア活動説明会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	14人		包括						
	無料		生活						
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出店	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	282人		包括						
	無料		生活						
ジュニアボランティア	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	13人		包括						
	無料		生活						
借恵園社のあかり共催 「メンズ芋煮会」	障害者	2,102	地活	2	2,100	0	0	2,102	0
	5人		包括						
	350円		生活						
貸館団体利用説明会	地域	6,723	地活	6,723	0	0	0	0	6,723
	47人		包括						
	無料		生活						
A2ライン共催事業 「ひなまつり」	親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	111人		包括						
	無料		生活						
教えて！グランマ	地域	3,000	地活	3,000	0	0	3,000	0	0
	17人		包括						
	無料		生活						
ドキュメンタリー映画 「みんなの学校」上映会	地域	97,000	地活	97,000	0	0	0	0	97,000
	146人		包括						
	無料		生活						
障がい理解セミナー	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	23人		包括						
	無料		生活						
無理なく転ばん体操 (前期・後期)	高齢者	68,736	地活		46,000	0	60,000	0	8,736
	204名		包括	22,736					
	1,000円/6回(半期)		生活						
グリーンヒル上白根 元気で転ばん体操 (前期・後期)	高齢者	78,728	地活		36,000	0	60,000	0	18,728
	137名		包括	42,728					
	1,000円/6回(半期)		生活						
きずな (前期・後期)	高齢者	77,968	地活		0	0	66,000	0	11,968
	195名		包括	77,968					
	無料		生活						
くつろぎの場	高齢者	5,000	地活		0	0	5,000	0	0
	49名		包括	5,000					
	無料		生活						
上白根ハイツ 体操教室	高齢者	0	地活		0	0	0	0	0
	87人		包括	0					
	無料		生活						
介護者の輪	地域	0	地活		0	0	0	0	0
	52人		包括	0					
	無料		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
認知症サポーター養成講座	地域	0	地活						
	139人		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
春の体力測定	高齢者	1,060	地活						
	19名		包括	1,060	0	0	0	0	1,060
	無料		生活						
健康教室パート1	高齢者	35,283	地活						
	71名		包括	35,283	0	0	30,000	2,483	2,800
	無料		生活						
男性向け体力測定会	高齢者	560	地活						
	12名		包括	560	0	0	0	0	560
	無料		生活						
司法書士が伝授する無料のセミナー&相談会	地域	0	地活						
	12人		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
旭北むつみ会口腔ケア教室	障害者	0	地活						
	14人		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
医療講座	地域	0	地活						
	105人		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
帰ってきた！いこいの広場(脳トレ教室)	高齢者	0	地活						
	172名		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
旭区版エンディングノート活用講座	高齢者	0	地活						
	96名		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
健康教室パート2	高齢者	34,040	地活						
	33名		包括	34,040	0	0	30,000	1,128	2,912
	無料		生活						
介護予防体操～入門編～	高齢者	700	地活						
	18名		包括	700	0	0	0	0	700
	無料		生活						
介護予防体操～ボランティア育成編～	高齢者	52,800	地活						
	65名		包括	52,800	0	0	50,000	0	2,800
	無料		生活						
ワイワイあさひ「夏の全体会」(収支は団体)	障害者	0	地活						
	58人		包括	0	0	0	0	0	
	500円		生活						
ワイワイあさひ「クリスマス会」(収支は団体)	障害者	0	地活						
	73人		包括	0	0	0	0	0	
	500円		生活						
さくら祭り出店	地域住民	6,870	地活						
	117名		包括						
	無料		生活	6,870	0	0	0	6,870	0
		1,107,156							

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ

資料4-1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶のみサロン	概ね65歳以上の高齢者（独居高齢者、高齢者世帯）の閉じこもり防止・外出機会の創出、並びに仲間づくりの場を提供することを目的として開催しました。 共催：ボランティアグループ「すみれ会」	4-3月(8月休み) 第3土曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの貸し出し	地域の子育てサロンや個人宅での親子の交流に使用してもらうことを目的として、手づくりボランティアに製作してもらった布おもちゃを中心に、ケアプラザで保管するおもちゃの貸し出しを行いました。	随時 25件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
図書コーナー	子どもに気軽に立ち寄ってもらえるよう、また図書館に一人で行くのが困難な方にも気軽に本を読んでもらえるよう、図書の貸し出しやケアプラザで読書をする機会の場を提供しました。	随時 53件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具の貸し出し	地域ケアプラザで保有する福祉用具を、緊急的及び一時的に必要とする方へ貸し出すことを目的に実施しました。	随時 91件/年

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根ギャラリー	地域住民の絵画や写真などの作品をケアプラザに飾り、生きがいつくりのために実施しました。	随時 72件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根ふれあい農園	農園ボランティアの協力によりケアプラザ空きスペースを有効活用し、野菜や花を育て、収穫物を自主事業等に使用しました。 また、ボランティアの発掘・育成や、土いじりを通して地域住民相互の交流の場としました。	4-3月 概ね第2金曜日 計14回

**平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぶらぎ・かふえ ・ゆるり	地域住民の居場所づくり、世代間の交流の場として開催しました。折り紙、編み物等をしながら交流を図りました。また、コーヒーボランティアの活動の場所としても提供しました。	4-3月 第2火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根カラオケ 倶楽部	地域住民の交流の場として、また脳トレの一環としてカラオケ倶楽部を開催しました。	4-3月 第3水曜日・ 毎週木曜日 計63回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママのための ヒーリングヨガ 講座	ヨガを通して健康を意識するとともに、乳幼児期・学童期の子どもを持つ母親の交流の場、地域の仲間づくりの場の提供を目的に開催しました。	5-2月 第4火曜日 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リトミック	リトミックを体験し、親子の交流の場、地域の仲間づくりの場の提供として開催しました。	4-3月(8月休み) 第4金曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもの居場所 兼学習支援	ケアプラザ近隣の小学生を対象に、学習支援を兼ねた子どもの放課後の居場所として開催しました。異年齢の子ども同士の交流や地域ボランティア、高校生ボランティアとの交流を図るとともに、子育てを支援しました。	4-3月 毎週火曜日 (祝日除く) 計51回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白根学園 「麦の丘」 パン販売	障がい福祉事業所との共催で、障がい当事者の外出の機会と地域住民との交流を目的として開催しました。	4-3月 第3金曜日 計12回

平成29年度 自主事業報告書 横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
花だんづくり	個別支援学級に通う小学生の親子を対象にケアプラザ敷地内となっている歩道内緑地および入口付近に地域作業所で製造しているプランターを利用した花だん作りを通し、障がい児余暇支援として開催しました。また、緑化整備を行うことで、地域住民の憩いの場としました。	5・7月第1土曜日 9・10月第3土曜日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2017	歌を通じての社会参加と仲間づくりを目的として開催しました。(区内全地域ケアプラザ後方支援)	5月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子deイベント 「梅雨を吹きとばせ！親子でお祭りさわぎ」	就園前の親子を対象として居場所づくり・ふれあいの場を提供しました。 共催：親子グループ遊	6月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
A2ライン 共催事業 「七夕祭り」	旭北地区の子育て中の親子を対象として、子育て支援グループA2ラインと一緒に、七夕祭り(流しそうめんや手遊び、パネルシアター等)を通して、仲間づくりや気軽に相談できる関係づくりを目的として開催しました。	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらね キッズ倶楽部	地域の小学生の夏休みの余暇支援として開催しました。 ①エコーマイクづくり・③アイスクリームづくり：科学読物研究会 ②キャンドルづくり：よこはま動物園ズーラシア(地域貢献事業)	7-8月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜旭陵高校 地域貢献デー	横浜旭陵高校からの依頼で、高校生の地域貢献を目的として実施しました。 当初は、上白根地域ケアプラザの花壇および敷地内の草取りとグリーンヒル上白根横浜市営住宅の周りのゴミ拾い、デイサービスの車磨きをする予定でしたが、当日雨天のため、車イス体験とボランティアについての研修として実施しました。	9月 計1回

**平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録会	上白根地域ケアプラザエリアでのボランティア活動の説明とともによこはまシニアボランティアポイントカードの説明を行い、ボランティア活動者拡大を図るために実施しました。	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根地域ケアプラザボランティア活動説明会	上白根地域ケアプラザでのボランティア活動(地域活動交流・介護予防・通所介護)の説明とともによこはまシニアボランティアポイントカードの配布を行い、ボランティア活動者拡大を図るために実施しました。	9月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出店	区内ケアプラザPRのため、区民まつりにブースを出店しました。(区内地域ケアプラザ共催)	10月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニアボランティア	小学生の福祉啓発を目的として、地域の民生委員児童委員との協働によりケアプラザ内で福祉体験を実施しました。	11月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
偕恵園辻のあかり共催「メンズ芋煮会」	障がい福祉事業所との共催で、地域男性住民の地域デビューと障がい福祉事業所の地域貢献・利用者と住民との交流を目的に実施しました。利用者と住民が調理・食事を共にすすめることで、交流の機会促進につながりました。	12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館団体利用説明会	当ケアプラザ貸館登録団体を対象に適正かつ快適に貸館を利用していただけよう、利用手引きを使用し、平成30年度の手続き変更点を中心に説明会を開催しました。また、各団体の活動を周知し、利用者同士の交流を目的に開催しました。	2月 計2回

**平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	目的・内容	実施時期・回数
A2ライン共催事業 「ひなまつり」	旭北地区の子育て中の親子を対象として、子育て支援グループA2ラインと一緒に、ひなまつり（豚汁、手遊びやパネルシアター等）を通して、仲間づくりや気軽に相談できる関係づくりを目的として開催しました。	2月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
教えて！ グランマ	手づくりボランティアの協力のもと、入園・入学グッズづくりを通し、異世代交流の場、地域の仲間づくりの場の提供として開催しました。	2月 毎週水曜日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドキュメンタリー映画 「みんなの学校」上映会	「すべての子どもに居場所のある学校をつくる」公立小学校の取組をもとに、地域づくりや障がい児者への理解啓発につながることを目的として実施しました。映画鑑賞後には、これから取り組んでみたいこと、できることの見解を集めたワークショップも実施しました。5回目の上映は上白根コミュニティハウスとの共催で実施しました。	3月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい理解 セミナー	障がい児の登校支援ボランティア養成や地域住民への理解啓発をねらいとして、旭区基幹相談支援センター・相談員から発達障がいの理解についての講義を実施しました。	3月 計1回

**平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	目的・内容	実施時期・回数
無理なく 転ばん体操	地域内の介護予防の普及啓発、自発的な介護予防育成・支援として実施しました。また虚弱な高齢者も参加出来るよう体操に強弱をつけ実施しました。	4-3月 概ね第2水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
グリーンヒル上 白根 元気で転ばん体操	グリーンヒル上白根自治会住民を対象に、介護予防の普及啓発、自発的な介護予防育成・支援として実施しました。	4-3月 概ね第4金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きずな (旭台自治会館)	地域ケアプラザから離れた場所で介護予防教室を行いケアプラザの普及活動と共に、介護予防教室の新たな場所として地域の方が主体となって行える様、自主化に向けてアプローチを行いました。	5-3月 第1水曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くつろぎの場	白根台第九団地自治会「くつろぎの場」において、地域の方々の活動を介護予防の視点からの後方支援として、体力測定・介護予防体操・ペタンク・認知症についての講話を実施しました。	6, 10, 11, 2月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根ハイツ 体操教室	体力測定、ペタンク等介護予防の取組につながるきっかけづくりと地域ケアプラザの理解促進を目的に上白根ハイツ集会所にて出張教室を実施しました。	5-3月 (8・1月除く) 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の輪	介護者を対象に定期的にリフレッシュする機会を提供し、情報交換を行いました。	4-3月 概ね第1火曜日 計12回

**平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症 サポーター 養成講座	地域住民を対象に認知症の基礎知識についての正しい理解、認知症の理解者・応援者となるべくサポーターを養成するため、実施しました。	5, 7, 9, 10, 11, 3月 計7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春の 体力測定会	ケアプラザから離れた場所で地域住民の健康への関心を向上させるため、5月から行う体操教室や相談業務を近くの住民へ周知するため、実施しました。	4月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康教室 パート1	地域の方々に健康と向き合っていただくため健康講座と体操を一体化し健康について学んでいただくため実施しました。	7-10月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性向け 体力測定会	ケアプラザの事業に参加の少ない男性の集客をねらい参加者の中から今後の体操ボランティアに関わる人材の発掘を行い今後につなげていくために開催しました。	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
司法書士が伝授 する無料のセミナー&相談会	総合相談の中で取扱うこともある相続や成年後見制度について、「予防」「キーパーソンづくり」をキーワードとして、高齢者や家族で相続・老後について考えてもらうことを目的として実施しました。	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭北むつみ会 口腔ケア教室	中途障害者向けに口腔ケアの大切さを学び実践してもらうための講座として実施しました。	7月 計1回

**平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講座	地域住民向けに専門職による医療知識を深める講座について、健康増進や早期介護予防等の取組につなげることを目的として実施しました。 横浜旭中央総合病院(①-④), 旭区薬剤師会(⑤) ①下肢静脈瘤/②骨粗鬆症による骨折予防/③インフルエンザ・ノロウィルス流行/④めまい/⑤高齢者とお薬の関わり	10-12月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
帰ってきた！ いこいの広場 (脳トレ教室)	脳の活性化や認知症予防に関心のある概ね65歳以上の方を対象に、参加者同士の交流、脳トレや体操を通じて、介護予防の啓発と今後地域でボランティアとして活躍できることを目的に開催しました。	10-3月 概ね第1月曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区版エンディングノート活用講座	今宿西、ひかりが丘、白根地域包括支援センター、旭区社会福祉協議会との共催で成年後見制度について地域住民に広く周知するために講演会を開催しました。	11, 12, 1月 各土曜日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康教室 パート2	地域の方々に健康と向き合っていただくため健康講座と体操を一体化し健康について学んでいただくため実施しました。	11-2月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防体操 ～入門編～	地域の方々に介護予防の大切さを学んでいただき地域内の普及啓発と自発的な介護予防活動の支援を目指すために実施しました。	10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防体操 ～ボランティア 育成編～	地域の方々に広く介護予防の大切さと正しい体操を地域に広げるために実施しました。	12-3月 概ね第4月月曜日 計4回

**平成29年度 自主事業報告書
横浜市上白根地域ケアプラザ**

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワイワイあさひ 「夏の全体会」	障がい当事者の外出機会の創出と余暇支援、地域住民との交流を目的としてワイワイあさひ実行委員会との共催により夏まつりを実施しました。	8月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワイワイあさひ 「クリスマス会」	障がい当事者の外出機会の創出と余暇支援、地域住民との交流を目的としてワイワイあさひ実行委員会との共催によりクリスマス会を実施しました。	12月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
さくら祭り 出店	上白根コミュニティハウスのお祭りにケアプラザブースとして出店し、血管年齢測定・体脂肪測定・バルーンアート体験を開催し、地域ケアプラザのPRおよび参加者の健康増進意欲向上および住民ニーズの把握として、アンケートを実施しました。	3月 計1回